



令和 8 年 1 月 号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 大塚 玲華

「共に育てる」

園長 大塚 玲華

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、元気いっぱいの子どもたちの声が子供園に戻ってきました。昨年度は、保護者の皆様に園の教育・保育にたくさんのご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

さて、今日は始業式の後 ^{いしろ} 居城 ゆみ子 さんにいらしていただき、子どもたちに獅子舞とひょっとこ踊りを見せていただきました。子どもたちは獅子舞に少しドキドキしたり、ひょっとこの様子に笑ったりしつつ、それぞれの顔や動きをじっくりと興味深そうに見入っていました。獅子舞では頭を噛んでもらい厄除けや無病息災を願いました。子どもたちにとって、伝統文化を知り、触れる機会にもなりました。もしかしたら、明日以降再現して遊ぶ姿も見られるかもしれません。

子供園では、このように園内の職員や友達だけではなく、様々な人との出会いや関わりがあります。今回のように地域の方に園にいらしていただき、普段なかなかできない体験をさせていただくこともあるし、保護者ボランティアの方による絵本の読み聞かせ、七夕、お楽しみ会など、いろいろな保護者との出会いや体験もあります。毎月行われている運動遊び、きりん組が行ったカレーパーティーをする際の近所のスーパーへの買い出し、大宮小学校の児童や小学校の先生との交流、堀ノ内保育園の年長組が堀ノ内劇場のリハーサルを見に来てくれたことなども、様々な人との出会いや関わりの一つです。

保護者の方による絵本の読み聞かせでは、園内にはない絵本に出合ったり、担任とは違う大人と絵本の世界やそこで感じる気持ちを共有したりする機会となりました。また、お楽しみ会では子どもたちの遊びの刺激となり、特に今年度の運動会の「海の大冒険」につながるきっかけの一つとなりました。

小学校との交流では、きりん組にとって小学校を身近に感じたり、小学校の児童や先生に親しみをを感じる機会となりました。この体験が、より「小学生になる」という実感や「小学校に通うのがとても楽しみ！」という気持ちにつながっているようです。

様々な人との出会いや関わりは、子どもたちの体験を豊かにし、心を動かしたり、遊びとして再現して学びを深めたりする機会につながっています。

そしてこのような様々な人との出会いや関わりは、子どもたちが「自分は様々な人に見守られている」という安心感や、地域に対する親しみを覚えることにつながります。

子どもたちの育ちは、園内での体験や人との関わりはもちろんですが、園外の様々な人との出会いや関わりによっても支えられています。

今年も子どもたちのことを真ん中にして、保護者の皆様をはじめ、様々な立場の人と共に子どもたちを育てていくことができたら嬉しいです。

・ 今月の指導 ・

うさぎ組

2学期は、運動会や弁当散歩といった行事や、いろいろな素材や遊具と出会い、「やってみたい!」という期待感や「できた!」という満足感をたくさん味わってきました。作ったものや場で遊ぶことを繰り返す中で、何かになりきってみる面白さにも気づきはじめました。また、同じ場にいる子の存在が嬉しくなってきた2学期でした。

1月は次のことを重点に指導していきます。

- 生活の仕方を思い出し、自分の身の回りのことは自分でやろうとする。
- 保育者と一緒にお正月遊びを楽しむ。
- 好きな遊びで何かになりきって動いたり、自分なりに思いを表したりする楽しさを感じる。

久しぶりの登園でときどきする思いに寄り添いながら、2学期にした好きな遊びを繰り返し楽しんだり、生活の仕方を思い出して自分で取り組もうとしたりすることができるようにします。コマ回しなどお正月の遊びを楽しんだり、なりたいものになりきって動いたりするなど、やりたいことを見つけ、その中で思いを出して遊ぶ心地よさを感じられるようにします。

ぱんだ組

2学期は運動会や堀ノ内劇場などの行事を通して、学級の友達とのつながりをより感じたり、自信をもったりする姿がありました。遊びでは、友達と大まかなイメージを共有して遊ぶ中で自分の思いを出したり、自分なりに考えて工夫して作ったりすることが楽しくなってきました。コマ回しや縄跳び等、できるようになる嬉しさを感じたり、鬼遊びで友達の動きを感じながら動く楽しさも感じたりしています。

1月は次のことを重点に指導していきます。

- お正月遊びに興味をもち、友達や保育者と一緒に楽しむ。
- 遊びや学級活動の中で友達の動きを感じて動いたり、つながりを感じたりする。
- 興味をもったことに繰り返し楽しみ、できるようになる喜びを感じたりする。

コマ回しやかるた、けん玉、羽根つきなど日本の伝統文化であるお正月遊びに関心を持ち、自分が興味をもったことを繰り返しやってみようとしたり、できた喜びを積み重ねたりしていけるようにします。また、友達の刺激を受けながら取り組んだり、友達と一緒に遊んだりすることと楽しめるようにしていきます。

戸外でも縄跳び、ボール遊び、鬼ごっこなど、友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しみ、寒さに負けない元気な体づくりをしていきます。

きりん組

2学期は大きな行事を経験する中で、自分の力を発揮し、一人ひとりが大きく成長しました。また、友達と共通のめあてをもち、思いを伝え合って遊ぶことを楽しむようになりました。

1月は次のことを重点に指導していきます。

- 友達と共通の目的をもって遊びや活動に取り組む中で、考えを出し合ったり、友達のよさを認めたりしながら、一緒に進めていく楽しさを味わう。
- 自分の目的に向かって繰り返し取り組み、やり遂げた満足感を味わう。

今月も寒さに負けず、友達と一緒に体を動かして遊んでいきます。コマや縄跳び、竹馬では、友達の姿に刺激を受けながら、『できるようになりたい』と繰り返し挑戦することを楽しめるようにします。諦めないで取り組む姿を認め、共に喜び合ったり、悔しがったりしながら、一人ひとりの自信につなげていきます。また、3学期は子供園生活最後の学期です。修了や就学に向けて期待や不安で心が揺れることがあると思います。子供園と家庭で一緒に見守っていきましょう。

